

4・5月は幼稚園のウサギと触れ合ったり、ウサギのお面を作って遊んだり、オランダが出身地のミッフィーの絵本を見たりして、身近な動物から3歳児なりに世界にも親しみをもてるよう意識し、関わってきました。

次は何の動物で遊ぼうかな？と考えた時、袋に水を入れて揉むことが大好きな子ども達の姿、ハサミで紙を切ることが大好きな子ども達の姿が浮かんできました。そこで、南極のペンギンに思いを寄せて遊べる環境を作ろうと考えました。

健康な心と体



ペンギンのプール体操



お面の制作

★ ペンギンってどんな動物？



絵本『ペンギンの世界』



『おいしいね おいしいよ』

幼児の思い



- ・ペンギン知っているよ。でも見たことがないなあ
- ・水族館で見たことあるよ。魚を食べていたよ

保育者の願い



社会生活との関わり

- ・ペンギンは魚が大好き、氷がたくさんある寒いところに住んでいる、みんなと同じようにお父さんやお母さんがいるなど、自分の生活と重ね合わせながらイメージを広げ、ペンギンに親しみをもってほしい

自然との関わり・生命尊重



自分で氷を作ろう



いろいろな素材を使って魚を作る

幼児の思い



- ・氷がすぐになくなって悲しい。もっとほしいな
- ・ビニールテープを巻いたら、縞模様の魚ができた
- ・大きな魚は釣るのが難しい。小さい魚は二匹一緒に釣れることもある。トングも使えるよ

豊かな感性と表現

保育者の願い



- ・自分なりにイメージしたものを作ることでできる喜びや、作った物で遊ぶ楽しさを感じてほしい



作った魚で釣り遊び



みんなで魚を食べよう

氷遊びは、クラスのすぐ目の前に環境を用意しておくことで、安心して遊び出す子ども達の姿が見られました。にじみ絵や色氷などいろいろな遊び方を試しましたが、“自分で氷を作る”というが何より楽しかったようです。

室内の遊びでは、魚を作るだけでなく、作った魚で魚釣りをし、釣った魚を食べることまで遊びが広がりました。自分でイメージしたものが作れたことを保育者に認めてもらえたり、友達と一緒に魚を焼いて食べたりしたことで、より遊びの満足感・充実感を味わっていたのではないかと思います。何より、この遊びを通してみんなハサミやテープの扱い方が上達しました！さらにいろいろな道具や素材にも興味・関心をもてるよう環境を整えていきたいです。